

平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月14日

(氏名) 北野 俊
 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	16,723	10.4	△24	—	△27	—	△68	—
23年4月期第2四半期	15,149	△0.4	130	—	120	—	33	—

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 △74百万円 (—%) 23年4月期第2四半期 28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	△21.55	—
23年4月期第2四半期	10.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第2四半期	13,381	3,440	25.7
23年4月期	13,570	3,546	26.1

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 3,440百万円 23年4月期 3,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	4.3	350	11.1	300	7.1	150	18.2	47.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期2Q	3,230,500 株	23年4月期	3,230,500 株
24年4月期2Q	49,370 株	23年4月期	49,370 株
24年4月期2Q	3,181,130 株	23年4月期2Q	3,181,162 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書 及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	8
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 継続企業の前提に関する注記	11
	(5) セグメント情報	11
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
	(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動は東日本大震災の影響による停滞から脱し、回復基調が顕著となりましたが、欧州の財政危機や円高の進展に加えて原材料価格の高騰による企業部門の収益環境の悪化や、雇用・所得環境の改善が進まないことから消費マインドは低迷し、依然として景気の先行き不透明感が拭えない状況にありました。

当社グループの属する自動車関連業界では、震災等の影響による自動車生産台数の減少という一時的な要因も加わって新車販売台数は激減し、消費者のエコカー・省エネ志向の高まりとともに、輸入車販売も引続き苦戦を強いられました。

また、自動車燃料油販売業界もガソリンの全国需要が縮小する中、当社グループの営業地盤である神奈川県においても需要は低迷し、SS（サービスステーション）間の販売競争も激しく、厳しい経営環境下に置かれました。

このような状況のもと、当社グループでは「トータルカーサービス」を実現するため、グループ部門間のシナジー効果の最大限の発揮を意図した業務運営に取り組んだ結果、売上高は16,723百万円（前年同四半期比1,574百万円増加、10.4%増加）となりました。利益面では、ガソリン販売数量の減少及び価格競争による粗利益の減少に加え、新規出店等に伴う先行投資による販売費及び一般管理費の増加（前年同四半期比36百万円増加）等により、営業損失は24百万円（前年同四半期は130百万円の営業利益）、経常損失は27百万円（前年同四半期は120百万円の経常利益）となり、固定資産除却に伴う特別損失の発生及び法人税等負担後の四半期純損失として68百万円（前年同四半期は33百万円の四半期純利益）を計上しました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によっております。

ガソリンを中心とした燃料油やカーケア商品の販売事業及び車検・整備事業を運営するライフエネルギー事業部門の売上は7,332百万円（前年同四半期比786百万円増加）、セグメント損失は84百万円（前年同四半期は2百万円のセグメント利益）となりました。

当部門の主力商品であるガソリン販売は、東日本大震災の影響による需要の後退により販売数量が大幅に減少し、価格面でもSS間の競争は熾烈で、原油価格の高止まりによる仕入価格の上昇分をタイムリーに販売価格に反映させることが困難な状況が続きました。直販部門における大口需要家向け軽油・灯油販売の増加と、原油価格が予想以上に高値圏で推移したことに伴う燃料油販売単価の上昇及び環境対策として手掛けている自動車エンジン洗浄機器類の販売数量の大幅な増加等により売上高は前年同四半期を上回りましたものの、十分な利鞘が確保できなかったこと並びにSSにおけるガソリン販売数量の減少がセグメント損失の主な要因であります。

レンタカー事業、保険代理店及び中古車売買・斡旋事業を運営するカーライフサポート事業部門の売上は716百万円（前年同四半期比27百万円増加）、セグメント利益は14百万円（前年同四半期比35百万円減少）となりました。

当事業の中核であるレンタカー部門においては、法人契約の推進と個人顧客に対する短時間利用等、多様なメニューの提供により稼働率の向上に努め、売上高は前年同四半期を上回りました。利益については、新規出店による車両増加や、省エネ及び環境対策への取組みの一環として、EV（電気自動車）やハイブリッド車等のエコカー導入を積極的に推進したこと及びユーザーの低価格志向への対応等に伴い原価率が上昇しましたが、将来につながる投資を進めることができました。

BMW車、フォード車及びジャガー車の3ブランドの輸入車正規ディーラーを運営するカービジネス

事業部門の売上は8,572百万円（前年同四半期比791百万円増加）、セグメント利益は61百万円（前年同四半期比37百万円減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における国内の新車（登録車）販売台数は1,386千台と前年同四半期実績（1,648千台）を大きく下回りましたが、輸入車正規ディーラー業務を運営する当社グループでは、各ブランドのニューモデルを対象とした積極的な販売促進活動の結果、新車販売台数及び新車売上高は前年同四半期を上回り、価格競争の影響を最小限にとどめるとともに中古車販売及び車検・整備の取扱いを強化したことにより前年同四半期水準を維持することができました。

ビルメンテナンス事業及び不動産賃貸事業を行なう不動産関連事業部門の売上は225百万円（前年同四半期比14百万円減少）、セグメント利益は50百万円（前年同四半期比5百万円減少）となりました。

不動産関連事業部門は、安定した顧客を確保しており、引続き堅調に推移しました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ188百万円減少して13,381百万円となりました。これは、現金及び預金が233百万円、受取手形及び売掛金が141百万円とそれぞれ減少し、棚卸資産が170百万円増加したため、流動資産合計が125百万円減少したこと及び固定資産合計が63百万円減少したことによるものであります。

一方、支払手形及び買掛金が553百万円増加しましたが、短期借入金が372百万円、長期借入金（1年以内の返済予定を含む。）が164百万円とそれぞれ減少したことにより、負債合計が83百万円減少して9,941百万円となり、純資産合計は当第2四半期連結累計期間の業績等を反映し、105百万円減少して3,440百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は0.4ポイント低下して25.7%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内においては復興需要の増大が見込まれるものの、米国や新興国経済の減速懸念及び欧州財政・金融不安や円高の長期化など、景気の下振れリスクが高まる現下の経済情勢から各事業とも引続き厳しい環境下に置かれるものと想定しております。

第2四半期連結累計期間の業績は、利益面において当初予想との差異が生じ、四半期純損失を計上しましたが、第3四半期は燃料油販売及び輸入車販売にとって最大の需要期に当たり収益拡大が見込まれること、かつ、各事業部において期初から取組んできた新規出店や既存店舗のリニューアル等諸施策の販売促進効果の具現化が期待できること等により、通期の業績予想につきましては平成23年6月20日公表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,919	1,059,632
受取手形及び売掛金	2,212,936	2,071,045
商品及び製品	2,050,137	2,220,259
原材料及び貯蔵品	20,452	20,932
繰延税金資産	57,461	55,851
その他	601,636	662,627
貸倒引当金	△55,813	△35,809
流動資産合計	6,179,731	6,054,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,211,373	1,163,851
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産（純額）	695,226	698,176
その他（純額）	373,842	388,908
有形固定資産合計	6,170,531	6,141,024
無形固定資産		
のれん	47,022	36,526
その他	24,730	24,149
無形固定資産合計	71,752	60,675
投資その他の資産		
差入保証金	744,937	723,856
繰延税金資産	31,256	32,794
その他	382,201	378,488
貸倒引当金	△9,489	△9,407
投資その他の資産合計	1,148,905	1,125,732
固定資産合計	7,391,190	7,327,432
資産合計	13,570,921	13,381,971
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,793,267	2,346,478
短期借入金	5,076,226	4,703,724
1年内返済予定の長期借入金	283,872	248,872
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	317,565	340,955
未払法人税等	80,083	33,013
賞与引当金	117,020	108,640
その他	767,088	717,339
流動負債合計	8,465,122	8,529,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
固定負債		
社債	120,000	105,000
長期借入金	558,350	429,258
リース債務	422,041	401,314
繰延税金負債	16,948	12,962
退職給付引当金	330,935	349,347
役員退職慰労引当金	88,347	92,979
その他	22,603	21,333
固定負債合計	1,559,226	1,412,196
負債合計	10,024,349	9,941,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,688,627	2,588,258
自己株式	△27,174	△27,174
株主資本合計	3,535,202	3,434,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,369	5,771
その他の包括利益累計額合計	11,369	5,771
新株予約権	—	145
純資産合計	3,546,572	3,440,750
負債純資産合計	13,570,921	13,381,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
売上高	15,149,103	16,723,251
売上原価	12,303,049	13,996,031
売上総利益	2,846,054	2,727,219
販売費及び一般管理費	※ 2,715,429	※ 2,751,504
営業利益又は営業損失(△)	130,625	△24,284
営業外収益		
受取利息	2,040	1,546
受取配当金	807	864
受取手数料	18,062	28,227
その他	15,403	12,730
営業外収益合計	36,314	43,369
営業外費用		
支払利息	43,398	43,855
その他	2,852	3,186
営業外費用合計	46,250	47,042
経常利益又は経常損失(△)	120,688	△27,957
特別利益		
固定資産売却益	—	1,049
特別利益合計	—	1,049
特別損失		
固定資産除却損	6,134	15,784
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,549	—
その他	3,474	25
特別損失合計	43,158	15,809
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	77,530	△42,717
法人税、住民税及び事業税	29,427	26,020
法人税等調整額	15,070	△179
法人税等合計	44,498	25,840
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	33,031	△68,557
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,031	△68,557

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	33,031	△68,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,197	△5,598
その他の包括利益合計	△4,197	△5,598
四半期包括利益	28,833	△74,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,833	△74,155
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	77,530	△42,717
減価償却費	237,711	302,744
のれん償却額	10,496	10,496
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,240	△20,085
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,570	△8,380
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,829	18,411
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,070	4,632
受取利息及び受取配当金	△2,848	△2,411
支払利息	43,398	43,855
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,049
固定資産除却損	6,134	15,784
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,549	—
売上債権の増減額(△は増加)	△65,056	88,893
たな卸資産の増減額(△は増加)	△99,019	△55,767
仕入債務の増減額(△は減少)	567,320	490,313
未収入金の増減額(△は増加)	30,301	△30,849
未払金の増減額(△は減少)	27,322	△31,882
その他	△96,319	90,208
小計	798,090	872,196
利息及び配当金の受取額	2,848	2,411
利息の支払額	△42,948	△44,712
法人税等の支払額	△16,129	△75,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	741,860	753,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△3,088	△3,028
有形固定資産の取得による支出	△290,390	△228,280
有形固定資産の売却による収入	—	1,050
投資有価証券の取得による支出	△460	△585
投資有価証券の売却による収入	1,400	—
差入保証金の差入による支出	△1,199	△1,388
差入保証金の回収による収入	20,631	20,865
短期貸付金の増減額(△は増加)	3,000	△7,000
長期貸付金の回収による収入	13,500	9,900
その他	△13,823	△16,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,431	△225,190

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△521,688	△372,501
長期借入金の返済による支出	△153,172	△164,092
社債の償還による支出	△40,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△108,891	△181,656
自己株式の取得による支出	△30	—
配当金の支払額	△31,924	△31,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	△855,707	△765,061
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△384,277	△236,316
現金及び現金同等物の期首残高	1,335,961	1,159,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 951,683	※ 923,573

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成22年10月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,478,209	670,999	7,777,115	222,779	15,149,103	—	15,149,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,781	18,511	3,937	17,181	107,411	△107,411	—
計	6,545,990	689,510	7,781,053	239,960	15,256,515	△107,411	15,149,103
セグメント利益又は損失(△)	2,541	49,264	99,388	56,196	207,391	△76,766	130,625

(注) 1. セグメント利益の調整額△76,766千円には、セグメント間取引消去65,417千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△142,183千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年10月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,261,003	696,002	8,561,125	205,120	16,723,251	—	16,723,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	71,558	20,743	11,305	19,920	123,527	△123,527	—
計	7,332,562	716,746	8,572,430	225,040	16,846,779	△123,527	16,723,251
セグメント利益又は損失(△)	△84,653	14,136	61,706	50,432	41,621	△65,906	△24,284

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△65,906千円には、セグメント間取引消去62,648千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,555千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。